



平成30年1月26日

東村山市長

渡部 尚 様

東村山市みんなで進めるまちづくり基本条例  
見守り・検証会議 会長 西村 弘



平成28年度に東村山市が実施した協働事業が「東村山市みんなで進めるまちづくり基本条例」第3条に定める協働の原則に則って行われたかについて（答申）

当会議は、平成29年6月22日付で、東村山市長より「平成28年度に東村山市が実施した協働事業が「東村山市みんなで進めるまちづくり基本条例」第3条<sup>※</sup>に定める協働の原則に則って行われたかについて」諮問された。

当会議で上記諮問内容について検証を行った結果、下記のとおり答申する。

#### 記

- 1 当会議が対象とした協働事業の検証結果から、平成28年度に東村山市が実施した協働事業が「東村山市みんなで進めるまちづくり基本条例」第3条に定める協働の原則に則って適切に取り組みされたと認められる。
- 2 検証経過等については別紙のとおり。  
なお、協働の判定における補足意見については、十分検討を行い、今後の協働事業に活かすよう努められたい。

以上

<sup>※</sup>東村山市みんなで進めるまちづくり基本条例

第3条 自治を進める基本原則は、次の各号に定めるとおりとします。

(1) 情報共有の原則 市は、市民に対し、市政に関する情報を分かりやすく公表し、情報共有に努めます。

(2) 市民参加の原則 市は、市民が自治の中心であることを基本として、市民の参加の下にまちづくりを進めます。

(3) 協働の原則 市民及び市は、市内において活動をする個人・団体と互いに自らの意思と責任のもと、対等な関係で協働してまちづくりを進めます。



## 検証経過等について

平成 29 年 6 月 22 日、同 8 月 4 日、同 10 月 12 日及び同 12 月 14 日に開催された会議において行った検証作業の概要は次のとおりである。

### 1 検証の方法について

平成 29 年度においては協働の原則に則した取り組みを中心として検証を行った。

検証自体は個別の事業評価ではなく、あくまで協働の原則に基づく取り組みが適切であったか否かの検証を行うこととした。

検証方法については、事務局から対象となる協働事業の概要及び協働の原則の反映状況等を聴取し、各委員が「検証シート」で 5 段階評価の判定を行ったうえで議論を行い、下記の協働事業について検証した。

### 2 対象となる協働事業について

次の特色の異なる 4 つの協働事業を会議において委員が合議の上選定した。

- (1) 市民文化のつどい
- (2) 自治会タウンウォッチング
- (3) 美住リサイクルショップ運営事業
- (4) 熊野公園管理業務に関する協定および運営への相互援助

3 協働事業ごとの検証結果

○ 市民文化のつどい

(1) 「ふりかえりシート」に基づく情報

協働事業の名称		市民文化のつどい	年度	平成28年度
所管課		社会教育課	種別	新規 <b>継続</b>
協働形態		<input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 後援 <input type="checkbox"/> 協力・連携 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他		
協働事業の経緯と目的	市民団体 (NPO法人東村山市文化協会)	市民一人一人の様々な学習や活動の発表の場。団体活動の発表の場。多種多様な作品の展示の場として、また、たくさんの市民の交流やふれあいの場として開催するようになった。(春季文化祭として位置付け実施している。)		
	社会教育課	市民一人一人の様々な学習や活動の発表の場。団体活動の発表の場。多種多様な作品の展示の場として、また、たくさんの市民の交流やふれあいの場として開催するようになった。(春季文化祭として位置付け実施している。)		
協働で行う理由	市民団体 (NPO法人東村山市文化協会)	文化協会・サークル・行政等が実行委員会を立ち上げ、市民文化による創作活動展・合唱祭・市民による伝統楽器演奏やコンサート・お茶席等、たくさんの市民による文化活動の発表を通じて、市民とのふれあいを深め、より香り高い東村山の文化を市内外にアピールすることが目的となっている。		
	社会教育課	文化協会・サークル・行政等が実行委員会を立ち上げ、市民文化による創作活動展・合唱祭・市民による伝統楽器演奏やコンサート・お茶席等、たくさんの市民による文化活動の発表を通じて、市民とのふれあいを深め、より香り高い東村山の文化を市内外にアピールすることが目的となっている。		
実施内容		展 示部門:5月28日(土)~29日(日) ホール部門:5月28日(土)~29日(日)・6月4日(土)~5日(日)・場所 中央公民館 ・56団体		
事業実施のプロセス	市民団体 (NPO法人東村山市文化協会)	目的、企画内容について、十分な話し合いができたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できた	<input type="checkbox"/> まあまあできた
		対等な立場で協力して事業を行えたか。	<input type="checkbox"/> あまりできなかった	<input type="checkbox"/> 全くできなかった
		互いに必要な情報を共有できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できた	<input type="checkbox"/> まあまあできた
		役割分担や責任の所在は適切だったか。	<input type="checkbox"/> 十分できた	<input checked="" type="checkbox"/> まあまあできた
		事業後に課題や改善策等について話し合ったか。	<input type="checkbox"/> あまりできなかった	<input type="checkbox"/> 全くできなかった
	社会教育課	目的、企画内容について、十分な話し合いができたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できた	<input type="checkbox"/> まあまあできた
		対等な立場で協力して事業を行えたか。	<input type="checkbox"/> あまりできなかった	<input type="checkbox"/> 全くできなかった
		互いに必要な情報を共有できたか。	<input type="checkbox"/> 十分できた	<input checked="" type="checkbox"/> まあまあできた
		役割分担や責任の所在は適切だったか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できた	<input type="checkbox"/> まあまあできた
		事業後に課題や改善策等について話し合ったか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できた	<input type="checkbox"/> まあまあできた

協働により得られた効果	市民団体 (NPO法人東村山市文化協会)	秋に開催する市民文化祭に対し、東村山市文化協会が主催となり開催している文化活動推進事業。加盟団体を中心に一般の参加募集を募り、社会教育課・中央公民館と連携して準備を含めて3月からスタートしている。
	社会教育課	秋に開催する市民文化祭に対し、東村山市文化協会が主催となり開催している文化活動推進事業。加盟団体を中心に一般の参加募集を募り、社会教育課・中央公民館と連携して準備を含めて3月からスタートしている。
検討課題	市民団体 (NPO法人東村山市文化協会)	東村山市文化協会で中心を担う人材の発掘と参加団体の高齢化。
	社会教育課	東村山市文化協会で中心を担う人材の発掘と参加団体の高齢化。

## (2) 協働の判定

協働の原則	判定 (※)	補足意見
目的共有の原則	優れている (3.67)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長年続いている継続事業ということで、目的がきちんと共有されているというのが見えて評価できる。</li> <li>・事前打ち合わせの回数を見てもよく話し合われている。</li> </ul>
対等の原則	非常に優れている (4.50)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金をもらわずにNPO団体が独立して運営しているという点は評価できる。特に、準備段階において、資料を見る限り、NPO団体による運営で、市は作業補助という役割分担が明確となっていて優れている。</li> <li>・原則として市民主導で、市はアシスト的なスタンスというのも問題ない。</li> <li>・大人数の参加の中、市民が中心でうまくまとめて事業を達成できている。また、市側がよく支援されている。</li> </ul>
公開の原則	優れている (3.83)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO団体と担当所管との情報共有はきちんとできているが、それらについても多くの市民への発信・共有を望む。</li> <li>・構成団体の多さと複雑さから全ての関係者にお互いの情報が共有されることは難しいと推察されるが、一定程度共有はされている。</li> </ul>
自主・自立の原則	優れている (4.17)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係者が多く、役割分担をすることが難しい部分もある中、よくまとめている。</li> </ul>
相互理解の原則	優れている (3.83)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・反省会も行われ検証されているが、課題である高齢化などによる担い手不足の解決策については今後の対応に期待したい。</li> <li>・課題の内容について共通の認識を持っており、うまくコミュニケーションがとれていると言える。</li> </ul>
総括	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京オリンピック・パラリンピックも開催されるので、この事業においても、どこかで障がい者の方へ向けた取り組みも一つ入れたらいいのではないかな。</li> <li>・高齢化と、人が集まらないという課題については、PRの仕方などで工夫できる余地が見込める。</li> </ul>

判定：5. 非常に優れている(4.5以上) 4. 優れている(4.5未満3.5以上) 3. 適切である(3.5未満2.5以上)  
2. あと一歩である(2.5未満1.5以上) 1. 努力が必要である(1.5未満)

※ ( ) 内数値は、各委員から提出された「検証」シートの判定点数を平均したもの。

## (3) 検証結果

優れている(平均4.00)と認められる。

○ 自治会タウンウォッチング

(1)「ふりかえりシート」に基づく情報

協働事業の名称		自治会タウンウォッチング	年度	平成28年度
所管課		市民協働課	種別	新規 <b>継続</b>
協働形態		<input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 後援 <input checked="" type="checkbox"/> 協力・連携 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他		
協働事業の経緯と目的	市民団体 (南菽会 自治会)	自治会として、前年度2回目のタウンウォッチング事業を行い、継続して行うことの意義を強く感じたところであり、また、平成28年3月の自治会フォーラムでの事例発表を通じ、先駆的な自治会としてより良いまちづくりを行政と一体となって協働で実践する必要があると感じたため。		
	市民協働課	平成25年度から自治会活性化事業の一環として始めた。自治会員と市職員と一緒に自治会区域を歩き、まちの良い所や悪い所を発見・確認し、一緒に話し合いを重ねながら、自治会で解決可能なことは自治会が、また行政がやるべきことは行政が取り組むなど、役割を明確にする。また、職員が地域の声を聞くことで、市民目線に立った対応や考え方や地域の現状を把握でき、職員のスキルアップ向上にも繋げることを目的としている。		
協働で行う理由	市民団体 (南菽会 自治会)	タウンウォッチングの結果、自治会単独で解決できる課題、周辺自治会と協力して解決すべき課題、自治会では解決困難な行政が取り組むべき課題など、その課題解決に当たって役割分担を明確にし、早期課題解決に向けて取り組むことができるとともに、常にPDCAでしっかりとマネジメントできるため。		
	市民協働課	話し合いをしながら、自治会が取り組むべきことと行政がやるべきことの役割分担を明確にし、課題解決に取り組むため。		
実施内容		日時:平成28年11月20日(日)10:00~12:00 集合場所:菽山集会所前 内容:自治会区域内を自治会員と職員(防災安全課、地域安全課、市民協働課)と一緒に見て回り、消火器等消防設備の設置状況、スクールゾーン、危険箇所、まちの良いところ・悪いところなどの確認を行った。タウンウォッチング後には、菽山集会所において、確認事項の整理、各々が感じた意見を出し合い、地域内の課題等の共有化を図った。【参加】:防災安全課(2名)、市民協働課(2名)、自治会員(約20名) *市職員と自治会員でまち歩き、その後菽山集会所にてワークショップを行い課題の抽出及び解決策の話し合いを実施。		
事業実施のプロセス	市民団体 (南菽会 自治会)	目的、企画内容について、十分な話し合いができたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できた	<input type="checkbox"/> まあまあできた
		対等な立場で協力して事業を行えたか。	<input type="checkbox"/> あまりできなかった	<input type="checkbox"/> 全くできなかった
		互いに必要な情報を共有できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できた	<input type="checkbox"/> まあまあできた
		役割分担や責任の所在は適切だったか。	<input type="checkbox"/> あまりできなかった	<input type="checkbox"/> 全くできなかった
		事業後に課題や改善策等について話し合ったか。	<input type="checkbox"/> 十分できた	<input checked="" type="checkbox"/> まあまあできた
	市民協働課	目的、企画内容について、十分な話し合いができたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できた	<input type="checkbox"/> まあまあできた
		対等な立場で協力して事業を行えたか。	<input type="checkbox"/> あまりできなかった	<input type="checkbox"/> 全くできなかった
		互いに必要な情報を共有できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できた	<input type="checkbox"/> まあまあできた
		役割分担や責任の所在は適切だったか。	<input type="checkbox"/> あまりできなかった	<input type="checkbox"/> 全くできなかった
		事業後に課題や改善策等について話し合ったか。	<input type="checkbox"/> 十分できた	<input checked="" type="checkbox"/> まあまあできた

協働により得られた効果	市民団体 (南菟会 自治会)	自治会と行政との課題共有及び役割分担を明確にできたものとする。また、行政の各担当部署・担当者との人的ネットワークや今後の具体的な改善へ向けての体制づくりが構築できたものとする。
	市民協働課	南菟会自治会は平成25年度より今年度で4回目のタウンウォッチングであったため、引き続き、課題の共有や解決策を話し合うことにより、解決すべき課題の役割分担を明確にし、自治会が抱える課題を市と共有でき、一緒に取り組むいい機会になった。
検討課題	市民団体 (南菟会 自治会)	タウンウォッチングで得られた結果、対応すべき課題等に対する個別事案ごとの改善の進捗状況について、都度自治会へ連絡するような仕組みはできないか。例えば、公園の時計の修理をするのであれば、事前に自治会へ連絡を入れるようなことはお願い。また、改善計画の目処等を定期的にメールなどでやり取りができるようなファロ体制の整備も必要と考えます。
	市民協働課	タウンウォッチングで挙げられた課題について、その場で終わらせることのないように引き続きフォローアップに取り組む必要がある。



## (2) 協働の判定

協働の原則	判定 (※)	補足意見
目的共有の原則	非常に優れている (5.00)	・半年の間に難しい多岐にわたる問題点をよく話し合われている。 ・自治会と市側の目的などが明確になっている。
対等の原則	非常に優れている (5.00)	・継続的に協議を行っており、対等な立場で協力しながら事業を実施できている。
公開の原則	優れている (4.33)	・適切に互いに必要な情報は共有されているが、他の関係機関との共有という面でもう一歩進められる可能性はある。
自主・自立の原則	優れている (3.50)	・自治会と行政の役割分担はしっかりできているが、行政側での役割分担については、縦割り行政を超えた連携を期待したい。
相互理解の原則	優れている (3.67)	・終了後にワークショップを実施しており、課題の共有は図られているが、解決に繋げることはかなり難しい。現実的にどう課題に対応するかについて仕組みを考える必要はある。
総括	—	・この事業を協働で実施する意義は、単に地域の課題を解決するためだけではなく、改めてまちをもう一度見ていくことを通じて自分が住んでいるまちをみんなで見直すことができる点である。 ・転入してきた方にパンフレットで渡すなど、こういう役に立っている事例があるという情報をどんどんオープンにすると、さらに良い取り組みになる。

判定：5. 非常に優れている(4.5以上) 4. 優れている(4.5未満3.5以上) 3. 適切である(3.5未満2.5以上)  
2. あと一歩である(2.5未満1.5以上) 1. 努力が必要である(1.5未満)

※ ( ) 内数値は、各委員から提出された「検証」シートの判定点数を平均したもの。

## (3) 検証結果

優れている(平均4.30)と認められる。

○ 美住リサイクルショップ運営事業

(1) 「ふりかえりシート」に基づく情報

協働事業の名称		美住リサイクルショップ運営事業	年度	平成28年度
所管課		ごみ減量推進課	種別	新規 <b>継続</b>
協働形態		<input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 後援 <input checked="" type="checkbox"/> 協力・連携 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> その他(市長が委嘱)		
協働事業の経緯と目的	市民団体(美住リサイクルショップ運営委員会)	経緯としては、循環型のまちづくりに向け、市民の協力を得て、ごみの減量、リサイクル活動の普及及び資源の有効利用等を図るため、平成10年に美住リサイクルショップを設置した。 目的としては、市民の立場から同じ市民への啓発事業を行うことにより、特に無関心の方、ルール違反者の層に対して行政では出来ない視点で廃棄物減量の意義を伝えている。また、美住リサイクルショップ《夢ハウス》を、東村山のごみを減らす市民の活動拠点として運営することにより、誰もが気軽にごみの減量や環境の問題を考え、行動する場を提供できる。		
	ごみ減量推進課	経緯としては、循環型のまちづくりに向け、市民の協力を得て、ごみの減量、リサイクル活動の普及及び資源の有効利用等を図るため、平成10年に美住リサイクルショップを設置した。 目的としては、行政と運営委員会とともにショップを運営し、再生家具の販売、フリーマーケットの開催、リサイクル講習会を行い、市民に対してごみ減量、リサイクルの推進を啓発していく。		
協働で行う理由	市民団体(美住リサイクルショップ運営委員)	行政、運営委員会が協力し合って啓発活動を進めることにより、より市民と一体感をもってごみ減量、リサイクルの推進を図ることができる。		
	ごみ減量推進課	行政、運営委員会が協力し合って啓発活動を進めることにより、より市民と一体感をもってごみ減量、リサイクルの推進を図ることができる。		
実施内容		美住リサイクルショップでは、今年度はリサイクル講習を17回行った。定期的な活動は、衣類陶器の引き取り、12回、おもちゃの病院と引き取り、9回。情報誌夢ハウスだよりは、全戸配布で年間3回発行及び月間予定表を適宜発行しごみの減量方法やタイムリーな記事を掲載している。駐車場(庭)でのフリーマーケット(3回開催)に加え、7月にサマーイベントを実施。5月の夢ハウスまつりでは、食品ロスのテーマに取り組んだ。とんぼ市として不用品情報の公開をし交渉成立することにより多くの廃棄物がリユースされている。市内イベントにてごみの減量、生ごみのたい肥化などを啓発した。久米川東小学校への出前授業の依頼に対応した。平成28年度のごみ講座は「ごみとくらしの未来をえがくーソーシャルデザインの紹介」をテーマにサンパルネコンベンションホールで行い、80名参加があった。 ①リサイクル講習17回②衣類・陶器の引取り12回③おもちゃの病院9回④市民ごみ講座(ごみとくらしの未来をえがく～みんなで作るソーシャルデザインの紹介～)1回⑤フリーマーケットの開催3回⑥月刊予定表の発行:適宜発行⑦広報誌「夢ハウスだより」の発行年3回⑧小学校への出前授業(久米川東小)1回		
事業実施のプロセス	市民団体(美住リサイクルショップ運営委員会)	目的、企画内容について、十分な話し合いができたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できた	<input type="checkbox"/> まあまあできた
		対等な立場で協力して事業を行えたか。	<input type="checkbox"/> あまりできなかった	<input type="checkbox"/> 全くできなかった
		互いに必要な情報を共有できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できた	<input type="checkbox"/> まあまあできた
		役割分担や責任の所在は適切だったか。	<input type="checkbox"/> あまりできなかった	<input type="checkbox"/> 全くできなかった
		事業後に課題や改善策等について話し合ったか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できた	<input type="checkbox"/> まあまあできた
	ごみ減量推進課	目的、企画内容について、十分な話し合いができたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できた	<input type="checkbox"/> まあまあできた
		対等な立場で協力して事業を行えたか。	<input type="checkbox"/> あまりできなかった	<input type="checkbox"/> 全くできなかった
		互いに必要な情報を共有できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できた	<input type="checkbox"/> まあまあできた
		役割分担や責任の所在は適切だったか。	<input type="checkbox"/> あまりできなかった	<input type="checkbox"/> 全くできなかった
		事業後に課題や改善策等について話し合ったか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できた	<input type="checkbox"/> まあまあできた

協働により得られた効果	市民団体 (美住リサイクルショップ運営委員会)	平成28年度も登録団体や他団体との協力をすすめ、夢ハウスの認知やごみ減量への関心を高めた。美住リサイクルショップの来館者数や窓口での売り上げなどに成果があらわれた。ロビー展示を充実させることで、より多くの来館者に、ごみ減量、リサイクルへの啓発を行うことができた。 また、登録団体にイベントや講習への参加を呼びかけることにより、より多くの市民が美住リサイクルショップの活動にスタッフとして協力することができ、拠点としての意義を深めた。
	ごみ減量推進課	美住リサイクルショップの来館者数を増やすという実行計画目標があり、平成28年度も、運営委員とともに協力しあい、10月にリニューアルオープン1周年記念フェア・3月にスプリングフェアを開催することで、認知度をより高められた。来館者も最終目標の25,000人を上回り、大きな成果をあげた。
検討課題	市民団体 (美住リサイクルショップ運営委員会)	今後は、現状の限られた運営委員の人員と量、予算を踏まえた上での、イベントや講習の参加者を増やすための効果的な手法の検討が必要。 また、行政との目的や問題意識の共有、情報・意見交換をさらに深めることも必要である。
	ごみ減量推進課	美住リサイクルショップの運営委員と行政との意見交換や情報共有をさらに深めることが必要である。

## (2) 協働の判定

協働の原則	判定 (※)	補足意見
目的共有の原則	非常に優れている (4.67)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会情勢や新しい知識の導入など、新しいものを取り入れていく意識がうかがえることから、お互いに十分な話し合いを行って企画していることがわかる。</li> <li>・毎月定例会を開催しており、十分な話し合いができている。</li> </ul>
対等の原則	非常に優れている (4.83)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営委員と行政で一体的に進めており評価できる。</li> <li>・多くの事業を対等な関係で協力して実施している。</li> </ul>
公開の原則	非常に優れている (4.67)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な情報共有ができていることから、ごみ減量という成果に繋がっている。</li> </ul>
自主・自立の原則	非常に優れている (4.67)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施している事業数に対して、運営委員の人員が不足しているのではないか。</li> <li>・運営委員会と行政の役割分担が明確である。</li> </ul>
相互理解の原則	非常に優れている (4.50)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改善策などについてよく話し合っている。</li> <li>・今後さらに発展を目指している前向きな姿勢が感じられる。</li> </ul>
総括	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20名以内という運営委員の中で、よく運営している。</li> <li>・長年継続していることで、マンネリ化しがちであるがよく新しい取り組みを導入しながら進められており評価できる。</li> <li>・成熟した活動となっており、行政と連携して長く安全・安心な状態が定着している。</li> </ul>

判定：5. 非常に優れている(4.5以上) 4. 優れている(4.5未満3.5以上) 3. 適切である(3.5未満2.5以上)  
2. あと一歩である(2.5未満1.5以上) 1. 努力が必要である(1.5未満)

※ ( ) 内数値は、各委員から提出された「検証」シートの判定点数を平均したものの。

## (3) 検証結果

非常に優れている(平均4.67)と認められる。

○ 熊野公園管理業務に関する協定および運営への相互援助

(1) 「ふりかえりシート」に基づく情報

協働事業の名称		熊野公園管理業務に関する協定および運営への相互援助	年度	平成28年度
所管課		みどりと公園課	種別	新規 <b>継続</b>
協働形態		<input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 後援 <input checked="" type="checkbox"/> 協力・連携 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> その他(協定)		
協働事業の経緯と目的	市民団体(熊野公園ボランティアの会)	NPO法人アーバンデザイン東村山会議(共催:東村山市)が「熊野公園再生プロジェクト」を開催。ワークショップ方法で熊野公園を整備した。終了後2011年10月に参加者数名で「熊野公園ボランティアの会」を設立。「公園は地域みんなの財産」という考えから、地域に密着した公園づくりを目指し、東村山市と協定を結んで会の公園の維持整備の一部を協力することとなった。		
	みどりと公園課	NPOアーバンデザイン東村山会議による提言書の提出。子供の遊ぶ姿を見かけなくなったことから、子ども達が楽しく安全・安心に遊べる公園を目標に、歴史ある公園の再生を目指す。		
協働で行う理由	市民団体(熊野公園ボランティアの会)	熊野公園は現在年2回委託業者による草刈りと、毎月の障害者福祉作業所による清掃が行われているが、それだけでは整備が行き届かないため、熊野公園ボランティアの会が自主的に整備に協力し、かつ有効活用でイベントの開催などを行っている。しかし公園は市の公共施設であるため勝手な活動はできないため、市が会の活動を把握し、公共的な活動が円滑に行えるようサポートするなど協働としている。		
	みどりと公園課	地域の集いの場として公園を活用し、イベント活動等を実施することで地域の活性化につなげていくため。		
実施内容		手作り予算での花壇の花の購入。ゴミ袋など備品の提供など。 市民手づくり事業費による塗料の購入。公園美化活動にともなう用具等の提供。 協定に伴う、事業の計画、報告協議の実施。		
事業実施のプロセス	市民団体(熊野公園ボランティアの会)	目的、企画内容について、十分な話し合いができたか。	<input type="checkbox"/> 十分できた	<input type="checkbox"/> まあまあできた
		対等な立場で協力して事業を行えたか。	<input checked="" type="checkbox"/> あまりできなかった	<input type="checkbox"/> 全くできなかった
		互いに必要な情報を共有できたか。	<input type="checkbox"/> 十分できた	<input checked="" type="checkbox"/> まあまあできた
		役割分担や責任の所在は適切だったか。	<input type="checkbox"/> 十分できた	<input type="checkbox"/> まあまあできた
		事業後に課題や改善策等について話し合ったか。	<input checked="" type="checkbox"/> あまりできなかった	<input type="checkbox"/> 全くできなかった
	みどりと公園課	目的、企画内容について、十分な話し合いができたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できた	<input type="checkbox"/> まあまあできた
		対等な立場で協力して事業を行えたか。	<input type="checkbox"/> 十分できた	<input type="checkbox"/> 全くできなかった
		互いに必要な情報を共有できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できた	<input type="checkbox"/> まあまあできた
		役割分担や責任の所在は適切だったか。	<input type="checkbox"/> 十分できた	<input type="checkbox"/> まあまあできた
		事業後に課題や改善策等について話し合ったか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できた	<input type="checkbox"/> まあまあできた

協働により得られた効果	市民団体 (熊野公園ボランティアの会)	市が独自の活動を認めてくれていることで、整備活動やイベント開催などの充実した活動ができた。そのことで、公園の整備がある程度行き届き、安全で楽しい公園として維持されているし、イベント開催では多くの方に参加していただき、活動理解や協力を得た。
	みどり公園課	清掃活動などの維持管理において、ボランティア活動は順調に実施されており、日頃から地域の方々による清掃、花壇の植栽活動や、除草等を実施いただき、きれいな公園が維持できている。細かな点でも連絡や報告を受けることができた。
検討課題	市民団体 (熊野公園ボランティアの会)	年度末のふりかえりや新年度の予定報告を定期的に行い、相互理解を深めたい。他の公園でも市民活動が活発なところもあるので、情報交換などの会を開いていただき活動に活かしたい。
	みどり公園課	公園再生としてボランティア活動において修繕されたベンチ等が再度劣化してきた等の報告を受けている。施設の状態を把握し、ボランティア活動に必要な支援を検討していく。

## (2) 協働の判定

協働の原則	判定 (※)	補足意見
目的共有の原則	適切である (3.00)	・基本的には、より良い環境づくりという共通の目的を持って活動ができているが、目的のすり合わせについて、双方のコミュニケーションにもう少し工夫が必要である。
対等の原則	優れている (3.67)	・適切に協力して進めている。
公開の原則	適切である (2.50)	・コミュニケーションのあり方に改善の余地がある。 ・目標の違いや認識の齟齬が見受けられるため、情報共有にやや疑問が残る。
自主・自立の原則	適切である (3.33)	・今後本事業が他の公園に広がった場合、必然的に市の関与が減ることが想定されるため、市民団体がある程度自立していくことが重要である。 ・役割分担する上で、もう少し市民団体の主体性に任せてもよいのではないか。
相互理解の原則	適切である (2.50)	・今後の課題や改善策について話し合いがもっと必要なのではないか。 ・市と市民団体に距離があるように感じる。
総括	—	・担当所管の努力については評価できる。本会議で出された意見などについても市民団体と共有されたい。 ・当初の目的や活動の経緯については、モデルケースと言うべき事業である。 ・防災・防犯の観点など、他部署との連携を図ることで、さらなる協働の充実に繋げられるのではないか。 ・市民団体に任せていく体制への移行が必要ではないか。

判定：5. 非常に優れている(4.5以上) 4. 優れている(4.5未満3.5以上) 3. 適切である(3.5未満2.5以上)  
2. あと一歩である(2.5未満1.5以上) 1. 努力が必要である(1.5未満)

※ ( ) 内数値は、各委員から提出された「検証」シートの判定点数を平均したものの。

## (3) 検証結果

適切である(平均3.00)と認められる。

以上